

◎この一覧表においては、システム上の大分類を「災害」と、中分類を「事案」とする。

項目	機能概要	
共通機能		
メニュー構成	1	代理ログインができること。（市本部ユーザが、市各部ユーザとして代行操作できること。）
視覚効果	2	パスワードの文字数、英数字の組み合わせのポリシーを設定できること。
入力機能	3	入力に要する時間、入力ミス削減に資する工夫があること。
出力機能	4	本文入力部分には例文が入力されていること。 また、例文の編集ができること。
管理機能	5	各入力画面において、必須の入力項目であることが判断し易い構成であること。
	6	複数タブが展開でき操作できること。
	7	遷移した画面において、メニュー名を画面上に表示すること。
	8	対応事案ごとにチャットを開設し、文面でのやり取りが可能であること。また、その内容が保存できること。
	9	動画を取り込み、通報受付・対応状況・対応結果情報と関連付けて管理することができること。
	10	災害時においても、処理速度が低下せずストレスなく使用できること。
	11	写真のアップロードが原因によるシステム動作の遅延等が発生しないこと。
	12	任意の端末（職員個人の端末）から写真を本システムへアップロードができること。
	13	出力様式に決裁欄が設定できること。
	14	本市が指定する各種様式での帳票出力に対応できること。 （例：災害対策本部資料、報道発表用資料等、様式は協議とする）

項目	機能概要	
災害対応		
災害対応管理	15	過去の災害データを用いた訓練が実施できること。
地図機能	16	可能な限り改修やカスタマイズを少なくし、設定で対応ができること。
災害情報	17	データ容量の拡張が可能なこと。
トリアージ	18	モバイルWi-Fiルーターは、指定した端末のみ接続可能とするよう設定できること。
庁内の情報共有	19	主要機能を強調した表示とすること。 ※主要機能：通報受付、対応状況、対応結果管理、避難所、避難所管理
クロノロジー	20	主要機能へ、2クリック以内でアクセスできること。 ※主要機能：通報受付、対応状況、対応結果管理、避難所、避難所管理
	21	関連システムのURL情報をリンク先情報としてマスタ登録し、表示できること。
	22	項目を選択し、表示・非表示を選択（フィルタによる絞り込み）することができること。
	23	取り込んだ画像などの位置情報をもとに、地図上に位置情報が自動で反映されること。
	24	災害や事案の緊急度や重要度に応じ、強調表示（文字色等）を変更すること。
	25	対応結果の入力時に、被害区分の分類等の専門的知識を要する項目に対し、解説を表示するなど、誤入力を防ぐサポート機能を有すること。
	26	災害・事案ごとにデータファイル（PDF・ワード・エクセル等）の登録ができること。
	27	本システム内で、庁内（各部各班）におけるメッセージ送信や掲示板機能などの、情報共有機能を有すること。
	28	チャット等のメッセージ受信時は、音によって通知すること。
	29	情報共有する機能において、システム外のデータファイル（PDF・ワード・エクセル等）を共有することができること。
	30	1つの事案について、複数の部局に対応依頼できること。

項目		機能概要	
		31	情報の共有先（各部各班）を指定して行えること。
		32	情報の共有先（各部各班）が情報を確認したことを、「既読」「確認済」などの表示によって、確認できること。
		33	操作マニュアル等のデータを、システム内に格納できること。
		34	市域全体表示や特定地域の詳細表示の際に、地図の縮尺に応じて、各種情報やシンボル（地図記号）が適切に表示されること。
		35	システム上で表示される地図は、各地点の情報（道路・建物・田・畑等）を把握できるものであること。
		36	システム上で表示される地図の建物名や居住者名を検索して位置を表示できること。
		37	以下の図形が使用可能かつ、プロパティ（色、線幅）も指定可能であること。 ・ポイント・ライン・ポリゴン・矢印（ライン）・サークル・アイコン・ペン（手書き）・ボックス・テキスト・ボックステキスト
		38	地図上でアイコンにカーソルを合わせると詳細情報が表示されること。 例：避難所⇒定員、収容率 池⇒堤高、貯水量等
		39	カメラのアイコンをマッピングし、カーソルを合わせると河川カメラの映像が表示できること。また、クリックにより、別タブとして展開されること。 ・国交省川の防災情報 ・国交省姫路河川国道事務所ライブカメラ ・兵庫県河川監視システム ・加古川市河川情報システム
		40	アラート音やフラッシュ、パトライトなどと連携し、端末を注視せずとも、水位や気象状況が閾値を超えたことがわかること。
避難所			
	管理	41	複数の避難所の情報を一括して更新できること。
	避難者管理	42	避難所対応中の職員を把握できること。 ※どこの避難所に、何課の誰が従事しているかを把握できること。
	支援要求	43	災害名称ごとに臨時の避難所を複数追加でき、避難者数を管理できること。

項目		機能概要	
		44	避難所の収容人員に対する実際の避難者数の割合に応じて、避難所ごとに、「空いている、やや混雑している・受入停止」などの状況を表示できること。 また、庁内外に公開できること。
		45	各避難所又は各地区等の避難所のグループごとにメッセージ送信等の情報共有が可能なこと。
備蓄			
	物資管理	46	地図上から物資管理ページへ遷移できること。
	物資融通	47	国が提供する物資調達・輸送調整等支援システムとCSV連携が可能であること。
外部連携			
	情報取得	48	Jアラートから受信した国民保護情報を表示すること。
	情報発信	49	以下の情報をシステム上に表示できること。 ・気象庁 あなたの街の防災情報 ・水害リスクライン ・兵庫県地域別土砂災害危険度 ・兵庫県高潮予測 ・兵庫県海の防災情報 ・兵庫県の気象情報
	職員参集		
	機能の拡張性	50	各種情報の閲覧は可能な限り一元化すること。
		51	システム上で編集した文面を、以下に配信できること。 防災ポータル、Yahoo!防災（アプリ）、Facebook、Twitter、LINE、登録制メール（ひょうご防災ネット） ※社内ポリシー等により、連携困難なものがある場合は、理由とともに申し出ること。
		52	電話による自動音声配信サービスと連動すること。
防災ポータル (市民向けインターネットサイト)			
		53	システムにより取得した河川のライブカメラによる情報を公開できること。
		54	通行止めなどの交通情報が公開できること。

項目		機能概要	
		55	市からのお知らせ情報（自由記述）の配信ができること。
		56	多言語（英語・中国語・ベトナム語・ポルトガル語）への自動翻訳が可能であること
		57	トップメニューから各コンテンツへのアクセスが容易な画面構成とすること。